



令和 4 年 9 月 1 日 現在
 総世帯数 2,011 世帯
 総人口 4,792 人
 男 2,367 人
 女 2,425 人

神林平和祈念式典 行われる



過去の悲惨な戦争を風化させることなく後世に伝え、永遠の平和を祈念する式典が 8 月 20 日 (土) 神林神社南の平和記念碑前で関係者 40 名ほどの参加者にて開催された。

黙祷を捧げ、倉科実行委員長の式辞と碑文の朗読、市長からのメッセージ披露の後、神林子ども会代表の二子小 6 年生の宮下翔君は「今まで平和に①いて考えていなかったが戦争のニュースを聞いて怖

くなった。人が争いを避け、平和な世界をつくるためには我慢することが大事ではないか」と訴えた。

菅野中 3 年生、間島優衣さんは「人はなぜ戦争をするのか、戦争は未来のある子供達の命や人の体の一部、また、人々の楽しい生活を奪う悲しいことで二度と起こしてはならないし、世界中の人々が笑顔で幸せに暮らせる世界になつてほしい」と平和への願いの言葉を述べた。

戦没者の名前の刻まれた慰霊碑に参加者全員が献花して世界の恒久平和への思いを新たにしました。

2年ぶりの
**マスつかみ
 大会**

コロナ禍でほとんどのイベントが中止になる中、7 月 31 日 (日)、2 年ぶりのマスつかみ大会が開催され、子供達 120 人、保護者、関係者も含め、210 人が参加しました。



子供達は夏休みの中とても楽しみに②ていたと思います。前日から育成会役員により準備され、当日は晴天に恵まれました。

今年にはコロナ禍で密を避ける為、2 か所でのマスつかみをする場所が用意されました。2 学年ごとに 2 か所に分かれ、マスつかみが順番に始まり、子供達の元気な声が響いていました。

5 年生の女の子が「私、8 匹も今日は捕まえたよ！取れない子の代わりに捕まえてやったの」と嬉しそうでした。

野外の体験イベントには、高学年の子が低学年の子供の面倒を見てやる気持ちを学べ、親子のスキンシップが取れる。また、リーダー講習会で学んだ危険予知を実際に体験するにはいい機会となりました。

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で**5名に500円分の図書カード**をプレゼント！締切は**10月26日(水)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております！

※ヒントは公民館だより9月号の中にあります。

【前回の答え】 なつやすみ 【今回のキーワード】 ○○○○○○○○

神林地区 長野県知事選挙投票率		
	前回 (H30)	今回 (R4)
当日有権者数	3,937 人	3,895 人
投票者数 (合計)	1,620 人	1,476 人
(男性)	773 人	696 人
(女性)	847 人	780 人
投票率	41.15%	37.89%

鎖川

暑い日が続いている。近年は夏の暑さは当たり前になってきているように思う。気象庁発表の昨年の日本の平均気温は観測史上過去最高を更新し、百年で 1・29 度上昇しているという。また世界の平均気温では「国連気候変動に関する政府間パネル」の報告によると、1950 年から 1・1 度上昇しており、2040 年までに 1・5 度上昇する可能性が高いという。また、その場合、世界人口の約 4 割にあたる 33 億 36 億の人が干ばつによる栄養不良、暴風雨、洪水、感染症リスクなどの気候変動による被害に対応できない脆弱な環境で生活しているとも報告されている。温室効果ガスの排出による気候変動は以前から問題とされていたが実感がなく、「妄言だ！」と言う人もいた。ここ数年の暑さや豪雨被害などの異常気象の実態を体験すると、喫緊の課題であると感ずる。自分たちの子供や孫たちが将来安心して生活できるためにも真剣に向き合う必要があると思う。個人で出来ることは少ないと思うが、小さな一歩が大事ではないでしょうか。

神林とこの人あり! 14
小林樹生さん(南荒井町会)

音の再現を究極まで極めると生演奏よりもいい音楽が聴けるといふ。実際に聴いてみると納得の音色だ。

南荒井在住の小林樹生さんの自宅には元の音に限りなく近い音が再現できる究極の「リスニングルーム」がある。60年間かけて小林さんがアツプデートを繰り返して、完成させた究極の設備である。メディアにも取り上げられ、国内外から多くの音楽ファンがその音色を聴きに訪れる。

前面に設置された巨大なスピーカーは音の進む方向を計算されており、コンクリートで覆われた大きな構造物となっている。自分で設計し、



俳句教室
13人盛況です

8月9日二年経過した公民館主催の俳句講座は、今13人の盛況講師は現代俳句協会副会長の小林貴子さん。

コンクリートの施工は仕事が終わってから夜間に奥様と2人で行った。スピーカーの細部の部品も材質を変えて試行錯誤を行って完成させた。また、壁や天井は平面ではなくホールのような形状をしていて、壁板は音の吸収を平均化するため一枚板ではなくサイズの異なる板を何枚も分けて細かくしている。壁のクロスもコンマ1ミリ単位で調整して、こちらもすべて自分で設計し施工した。レコードのターンテーブルも自作品で、部屋の床に穴が開いていて地面から立つ構造になっている。わずかな振動でも再生する音に影響が出てしまうためこのような構造にしているという。音楽は演奏者の調子で音楽の完成度が影響され、ホールの



カラヤンも彼が納得した演奏はたった一回だけという。小林さんのリスニングルームはその最高の一曲を生演奏に近い音色で再現できる世界でも珍しい貴重な設備。フランスから訪問した人は「カラヤンにこの部屋で彼の最高の曲を聴かせてあげたい、ここは最高の部屋だ」と感想を言っておられたという。

では音質はいいが演奏の完成度は低いこともある。有名な指揮者の

先ず講師が全員の句を読んだ感想を話し、その後作者が詠んだ時の情景を話すという流れで進み、一人2句提出した句を十分間皆が読み自分がいい句だなと思う2句を選び、それを皆にどう感じたかを話していく過程がそれぞれの感性が現れ、至福の時間の流れを感じさせた。28句の中で講師が予選12句、本選14句、特選2句を選ぶ。その2句は

◎七夕や俳句講座も早う年

田中 千奈子さん

◎夕まぐれ

倉科 弘子さん

小林講師は、「五、七、五をつけて句の意図が取り易く、句会の仲間の皆が共感して貰えるようにする会にしたい」と話された。

自然観察会にて
入笠山へ

7月27日(水) 神林公民館図書視聴覚委員会主催で「富士見パノラマリゾート」自然観察会が参加者18名で行われました。

8時30分にバスで出発して麓まで行き、ゴンドラリフトに乗り換え、ゴンドラ山頂駅まで向かいますが雲にさえぎられて景色は良くありません。標高一九五五mの入笠山山頂を目指すAコースと、山頂駅周辺の山野草公園や標高一七三四mにある湿原を散策するBコースに分かれて観察会開始です。

Aコースは自然公園指導員・川東の野口功さんを先導に9名が入笠湿原を通り登山口となる花畑へ。初夏と真夏の変わり目か花が咲き乱れる感じではありませんが山野草の観察には最高です。登山道に入り時折雨が降って滑りやすい岩場もありましたが、足元を取られないようにして登ります。しかし、もうすぐ山頂という所で強い雨と雷が鳴り響きました。急遽危険と判断し山を下り花畑近くのベンチでお弁当を食べて下山しました。



Bコースも天気にも恵まれず、予定より短い距離で実施しました。それでも、丸山館長を先頭に今盛りの山野草を満喫しながら遊歩道を歩きました。午後は、近くにある「カゴメ野菜生活ファーム富士見」へ行きました。ここでは、野菜ジュースが製品となるまでの工程を見学しました。実際工場へは行けなかったのですが、各人に貸与されたタブレットのVR映像を使った説明を受けました。この施設は、食事と買い物ができます。合流したAコースの人も加わって買い物をして帰途につきました。山はあいにくの雨となってしまう、見晴らしの良い展望台は雲の中、山頂での眺望も拝めず残念でしたが、これも自然。機会があれば初心者でも登れる入笠山へ登ってみてはいかがでしょう。